ぜんせき THE ZENSEKI

第7744号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）

10月23日（月曜日）　2017年（平成29年）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

SS過疎対策で意見交換

25日鹿児島、26日宮崎が会合

鹿児島県は25日、宮崎県は26日、それぞれSS過疎地問題の解消に向けた自主行動計画の策定を視野に、群馬県が8月末に全国47都道府県に先がけて設立した『SS過疎地対策フォーラム』に続く自治体主導の取り組みで、両県内でSSが3ヵ所以下のSS過疎市町村を中心に参加を募り、鹿児島石商（笹田隆司理事長）、宮崎石商（植松孝一理事長）、両県の経済農業協同組合連合会の石油業界のほか、両県の関係各課、九州経済産業局が加わり、SS過疎地の実態や今後の課題、具体的な対応策などについて意見交換する。

意見交換会は3部構成で実施。第1部は資源エネルギー庁石油流通課から、全国的なSS過疎地の実態やSS過疎地解消に向けた各自治体、地域住民、石油販売業者などの取り組みのほか、エネ庁の支援メニューなどを説明する。

第2部は、地域づくりを担う各参加自治体の人口、産業、インフラなどを紹介するほか、石油製品供給に携わる両県石商、経済連の活動のほか、防災対策上のSSの役割や小規模集落への燃料供給体制、SSの廃業・撤退問題（事業承継、後継者問題、設備更新負担の問題）など、SSを中心とした石油製品の安定供給体制を維持・強化していくための現状認識と課題などに関する議論を深め、SS過疎地に対する問題意識を共有する。

これらSS過疎地に対する現状認識を踏まえ、第3部では今後の会を行い、各地域特有の問題点や課題なども洗い出す方針だ。

参加市町村の個別相談の具体的なSS過疎地対策の策定に向けて、各

静岡・富士　市長に『満タン』推進要請

災害対応へ公的・民間備蓄を

【富士＝静岡】静岡石商（鈴木裕司理事長）および同石商富士支部（吉越徹支部長）は18日、富士市を訪問し、小長井義正市長に『満タン&灯油プラス1缶運動』に対する理解と協力を要請、小長井市長も満タン運動推進を確約した。

9月から全国展開されている『満タン運動』開始後、同石商による協力要請として自治体を訪問するのは初めてで、公的備蓄および民間備蓄の拡大につなげていきたい考えだ。さらに、この一環として現在、同石商ではSBSラジオでCMを放送中。

富士市役所を訪れたのは鈴木理事長と地元の佐野裕永・村方順一郎両副理事長、吉越支部長。石油連盟も同行し、災害に強い石油機器と経済性の高さをアピールした。

背後にPRツールを掲げ、『満タン』推進を要請した（写真中央左が鈴木理事長、右が小長井市長）

意見交換で鈴木理事長らは『満タン運動』の趣旨をはじめ、中核SSや住民拠点SSの整備状況なども紹介したうえで、「東日本大震災では、必要な物資として1にガソリン、2に食料、3に灯油とされた。昨今、石油は〝最後の砦〟との認識も深まってきており、政府の国土強靭化アクションプランにも燃料備蓄の推進が盛り込まれた。我々としても改めて石油の大切さをPRしたいので、満タン運動を大々的に取り上げてほしい」「我々が〝売りたいため〟ではない。民間備蓄の推進を通じ、災害時の社会混乱を未然抑制することに大きな意義がある」などと説明。

また「市では給油に関する取り決めなどはあるのか」と質したのに対して、市側は「事務連絡として、車の使用後は満タンにするよう伝えている」と答えた。

これに対して、「どれくらい減ったら満タンにすれば良いのか」との質問があり、「半分になったら満タンにしてほしいとお願いしている。公用車に限らず、企業を含めて社会全体がそうなってほしい」と呼びかけた。

原油コスト0.9円上昇

9月原油CIF 1.3円高35・5円

財務省

財務省が19日発表した9月原油CIF価格は、ドル建てが前月比2・48ドル高の1バレル51・51ドルと2ヵ月連続で前月を上回った。一方、円建ては原油価格が値上がりしたものの、為替がドル109・48円と円高で推移したため値上がり幅は圧縮され、13円高の1キロリットル3万5472円と4ヵ月ぶりに前月を上回った。

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは前週比1キロリットル0・9円高、3週ぶりに反発した。イラク北部で緊張感が増すなど中東の地政学リスクが高まっているうえ、来年3月末で期限を迎える産油国の協調減産について延長の見通しが流れ、堅調な買い材料になっている。直近20日の東商取プラッツ・ドバイ原油はドル建てで前日比0・51ドル安の1バレル55・45ドル、円建ては0・4円安の1キロリットル39・3円だった。

先週の国内ガソリン陸上スポット価格はほぼ横ばい。先週改定の大手元売4社による仕切り改定幅は、昭シェル値下げ、出光値上げ、JXTG・コスモ据え置きと分かれた。また、20日のTOCOM陸上スポットは前日比横ばいの107・8円で推移した。

◇　◇

特約店筋によると、コスモ先行は20日から前週比で全油種とも据え置きとなった。

週仕切り指標のコスト変動と推計値（＊原油＝価格適用期間のFOB平均値）　（円／L）

適用期間	原油	ガソリン			灯油		軽油		A重油
土～金曜		指標	系列卸	TOCOM	指標	TOCOM	指標	TOCOM	指標
2017年9月（前月比）	1.72	0.9	0.8	2.0	1.5	3.1	0.6	0.7	0.2
10／1週	1.10	0.8	1.5	0.0	1.3	0.2	1.1	0.6	1.0
2週	▲0.74	1.5	1.0	0.4	2.1	0.1	1.7	0.0	1.7
3週	▲0.08	▲0.1	▲1.0	0.7	0.4	0.8	0.3	0.0	0.0
前週実勢値	39.08	107.5	106.3	108.3	54.6	54.9	52.8	50.0	50.7
前週標準仕切り推計	---	113.3	111.4	110.8	60.4	57.4	58.6	52.5	56.5
10／4週	0.85	▲0.2	0.0	▲0.1	0.1	0.1	▲0.0	0.0	▲0.0
当週実勢値予測	39.93	107.3	106.3	108.2	54.6	55.0	52.8	50.0	50.7
最近値	39.63	107.3	106.3	108.2	54.7	55.0	52.9	50.0	50.7

論説

今冬の灯油商戦に際して

今夏7～9月の気温は当初予想では暑くなるとされ、SSからは歓迎の声も伝えられたが、全国929地点で記録された真夏日の平均出現率は36％で12年の44％、13年の40％、16年の39％に次ぎ、過去5年ではほぼ中位のレベルだった。また、旧盆期・シルバーウィークは天候不順などから行楽需要の盛り上がりに欠け、8月内需は4％減、9月も減販が見込まれている。こうした背景などから、特に関東以北では今冬の灯油商戦に寄せる期待が一層膨んでいる。

気象庁が先月25日発表した12～2月の今冬天候見通しによれば、平均気温は北日本で「平年並みか高い」、東・西日本で「ほぼ平年並み」、先週19日発表の向こう1ヵ月予報は北日本で「ほぼ平年並み」。今月中旬からは東京都心部でも秋の気配が強まっている。北国の寒冷地では、朝晩を中心に石油ストーブやファンヒーターを使う場面が増え始めたとも聞く。

灯油販売量は、2002年度が3千万キロリットル強。他油種に比べて特に気候要因による振れ幅が大きいが、それ以降は総じて減少基調にあり、11年度に2千万キロリットルを割り込んで以来は大台を回復しておらず、14～16年度は1600万キロリットル前後で、10年強の間にほぼ半減している。冬場の月平均気温は、平年（1981～2010年の30年）との偏差をみる限り〝暖冬〟化しているが、需要減は競合エネルギーへの転換に伴う影響も大だ。

また、エネ庁週次小売価格調査による冬場10～3月の灯油「店頭」「配達」全国平均価格は、それぞれ15年度が69・0円、77・5円、16年度が72・5円、80・7円。これに対して今年度の10月1～3週平均は77・6円、85・5円。一方で、10月第1週をみると15年度は79・2円、87・3円、16年度は63・7円、72・2円、今年度は77・0円、84・9円。前年対比では割高ながら、リーマンショックに揺れた08年は117・6円、123・8円に達していた。さらに、石油機器の出荷台数も東日本大震災を機に持ち直したが、その後漸減傾向がうかがえる。

こうした中、〝灯油復権〟に向けて全石連と各地石油組合、石油連盟などが連携しながら石油機器・灯油の需要を掘り起こすPR活動を続けている。競合エネルギーに勝る経済性も訴求できる。今年度は『満タン&灯油プラス1缶運動』が加わった。灯油が命綱になりうることも改めて訴えたい。

上期新車　乗用車8.3％増販

軽4年ぶり復調、シェア33％

日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合が集計した今年度上期（4～9月）の新車（乗用車）販売台数は、前年同期比で登録車が4・4％増の139・0万台（3年連続増）、軽4輪車が4・4％増の68・2万台（4年ぶり増）、合計8・3％増の207・2万台（5年ぶり増）と軽4輪の復調が全体を押し上げた。

この結果、軽4輪車シェアは2・5ポイント（P）上昇の32・9％、HVシェアは登録車が0・9P下落の37・5％、軽4輪が3・5P上昇の20・6％、計0・1P下落の31・9％となった。

また登録車に占める外国メーカー車は0・2P下落の10・6％（軽4輪を含めると1・0P上昇の7・1％）だった。

登録車をパワートレーン別にみてみると、HVが1・4％増の51・1万台（2年連続増）。PHVは新型プリウス効果で6・9倍の2・1万台（2年ぶり増）、EVは8・9％減の588台（2年ぶり減）、FCVは30・4％減の約300台だった。

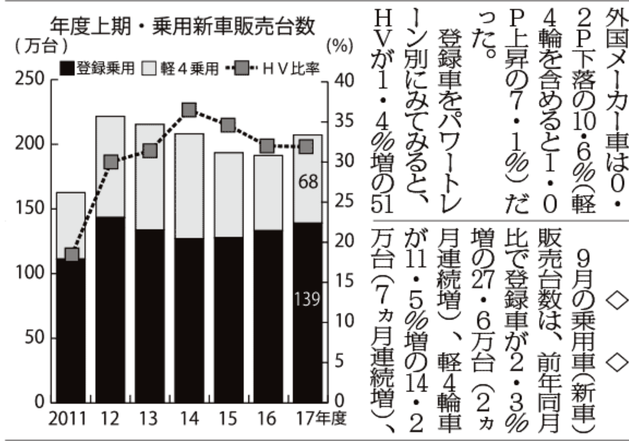
一方、ガソリン車は4・0％増の76・9万台、ディーゼル車は7・7％増の6・9万台。

なお、今回の集計から加えた軽4輪のHVは40・8％増の14・0万台となっており、軽4輪でもHV化が進んでいる。

◇　◇

9月の乗用車（新車）販売台数は、前年同月比で登録車が2・3％増の27・6万台（2ヵ月連続増）、軽4輪車が11・5％増の14・2万台（7ヵ月連続増）、合計5・3％増の41・8万台（11ヵ月連続増）だった。

登録車のうち外国メーカー車は1・4％増の3・5万台（2ヵ月連続増）。



18年度税制改正要望

G〝当分の間税率〟〝二重課税〟是正

JAF

JAFは先ごろ、2018年度税制改要望を取りまとめ、「ガソリン税などに上乗せされ続けている〝当分の間税率〟は理由もなく追加負担を求めているもので、ただちに廃止すべき」「ガソリン税に消費税が課税されるというタックス・オン・タックスは不可解で、今後の消費税再増税による負担増を考慮しても、早急に解消すべき」などと盛り込んだ要望を関係先に求めていくと発表した。

今夏に自動車ユーザー約9万人から得た調査結果をもとに、①過重で不合理な自動車税制の抜本的な見直しによる簡素化と自動車ユーザーの負担軽減②すでに過重な税負担を強いられている自動車ユーザーにさらなる負担を求めることはもはや限界にきており断固反対③先進環境対応車と先進安全自動車に対する優遇措置の強化―を3本柱に据え、各政党、国会議員、関係省庁、自治体などに要望書を提出するとともに、全国で街頭PR活動なども展開していく方針。

11月15日新時代エネシンポ開催

JXTGエネ

JXTGエネルギーはこのほど、日本エネルギー経済研究所やNHKエンタープライズなどとともに主催する第22回「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」を11月15日午後2時～4時30分まで、千代田区の東京国際フォーラムで開催すると発表した。参加費は無料で、ウェブサイトなどから申し込む。

「混迷する世界情勢と日本のエネルギー」をテーマに、資源エネルギー庁・日下部聡長官、エネ研・小山堅常務理事、JXTGエネ・中原俊也取締役常務執行役員、東京大学政策ビジョン研究センター・三浦瑠麗講師、東洋学園大学現代経営学部・八塩圭子准教授をそれぞれパネリストに、NHK・関口博之解説委員をコーディネーターに迎え、エネルギーを巡る国際情勢の変化が日本にどのような影響を及ぼすのか、またエネルギー安全保障をどう強化するのかなどを主な論点としてパネルディスカッションを行う。

東京ガソリン卸（9月分）
系列110.9円・業転108.0円
格差3ヵ月ぶり3円未満

東京石商政策委員会（大家章嘉委員長）が19日時点で集計した「9月分」の仕入価格調査結果（消費税別、回答数27件）によると、前月比でレギュラーの系列平均は2・1円高の110・9円、流通卸（業転）平均は2・8円高の108・0円で、格差は前回の3・6円から2・9円に縮小し、3ヵ月ぶりで3円未満となった。最多価格帯は、系列が横ばいの108円、業転が3円高の108円。消費税込み換算では、系列平均が2・3円高の119・8円、業転平均が3・0円高の116・6円だった。

軽油の系列平均は1・9円高の87・3円、業転平均は2・6円高の84・1円で、格差は3・9円から3・2円に縮まった。系列の最多価格帯は4円高の88円。

灯油の系列平均は2・7円高の55・8円、業転平均は3・2円高の52・5円で、格差は3・8円から3・3円に縮小した。最多価格帯は、系列が5円高の56円、業転が4円高の53円。

東京・仕入価格調査結果（9月分）（消費税別：円／kl）

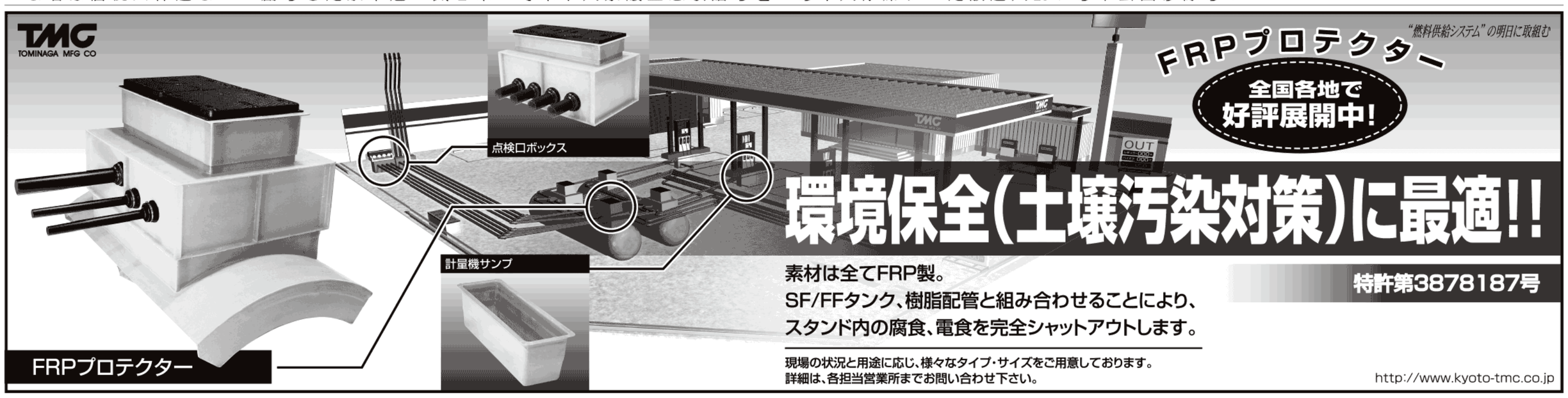
		最高	最低	平均	最多価格帯
系列	ハイオク	125.0	117.2	120.9	121
	レギュラー	115.0	108.1	110.9	108
	軽油	94.0	84.4	87.3	88
	灯油	65.0	48.3	55.8	56
流通卸	ハイオク	118.8	116.1	117.9	118
	レギュラー	109.3	106.1	108.0	108
	軽油	87.6	81.6	84.1	－
	灯油	55.1	49.5	52.5	53

ポンプあいらんど

▼世界トップレベルの国力と軍隊を築き上げる…。中国共産党大会での習近平国家主席の演説は自信に満ちていた。記者が訪れた約20年前は、都市部でも人民服姿が目につき裏通りには大量のごみが散乱。農村部は一見しただけで貧しさが伝わってきた▼上海の野外レストランで食事中に席を離れた瞬間、どこから現れたのか男女3人が飲みかけのビールやつまみをむさぼり始めた時の驚き。一方で、親日的な人たちが肩を組んできて千昌夫の『北国の春』を日本語や中国語で繰り返し歌い談笑したひと時も忘れられない▼同席の全人代メンバー（国会議員）は、ふるさとの家族を想う歌詞が中国人の心をつかみ大ヒットしている、みんな日本が大好きであこがれていると話してくれた。言葉通りいまや中国本土からだけで毎日約2万人が来日する人気で、まさに隔世の感。共産党大会期間中は危険物を取り扱う北京中心部の給油所が営業禁止になったりの国だが、両国共通の悩みもある▼都市と地方との格差縮小。ふるさと創生で全国の市町村に一律1億円が交付され、その使い道が話題になってから30年。高速道路の延伸や整備新幹線、地方創生大臣ポスト新設、ふるさと納税などあの手この手で活性化を目指すが効果は薄い。SS過疎地を増やさないことも重要な対応策のはずだ。

きょうの紙面

2面　全国一斉路上調査で3436本採取
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　北海道版・北石連・災害対応研修開始／九州版・各県理事長に聞く
4面　トレンドファイル／需給解説



株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-0717
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312　東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180　関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606　高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118　事業所・代理店／全国主要39都市

許すな！不正軽油

3436本 135ヵ所で採取

全国一斉路上軽油調査

〝不正軽油は許さない！〟。都道府県が連携し、脱税や環境破壊などの温床となる不正軽油の撲滅を目的とした全国一斉路上軽油抜取調査が18～19日に行われた。18日は全国132ヵ所、19日には宮崎で2ヵ所、鹿児島も前日に続き1ヵ所で実施、2日間では計135ヵ所で3436本を採油した。調査には総勢1069人の都道府県税務課職員らが参加、警察官490人の協力を得て、ディーゼル車から燃料を採油するとともに、ドライバーに不正軽油の使用禁止を訴えるリーフレットなどを配り、不正軽油の撲滅を訴えた。

秋田県大仙市の国道13号線の現場でサンプルの簡易検査を行う職員

群馬県渋川市の調査現場でドライバーに不正軽油撲滅を訴える税務課職員

山陽自動車道・淡河PAで抜き取り調査を行う兵庫県税務課の職員

今秋一番の寒さとなった北海道は、札幌周辺で朝に冷たい小雨が降ったが開始時間にはやみ、道内全エリア13ヵ所で道関係87人、道警47人の134人体制で合計232台から採油した結果、脱税が疑われる異常燃料は検出されなかった。

東北では6県の主要国道など19ヵ所で調査が行われ、県税職員185人が警察官78人の応援を得て採油と現場での簡易検査を実施。燃料サンプルは566本に上ったが、クマリン反応は1本もなかった。このうち秋田県大仙市の国道13号では、採油したトラックのドライバーに「不正軽油のうわさを聞いたことがないか」などの聞き取りも行った。福島は茨城県日立市の採取現場にも職員を派遣し、合同で調査した。

関東1都10県は38ヵ所で1140本を採油。このうち群馬では渋川、高崎、太田3市の主要国道沿線3ヵ所で調査を実施し、税務課職員32人と警察官8人の総勢40人が連携。97台から129本を採油した。千葉でも松戸、大網白里、袖ヶ浦3市の3ヵ所で実施、税務課職員27人と警察官15人など総勢50人が出動し、68本を採油した。

中部6県は11ヵ所で328本を採油。愛知では2ヵ所で実施し、高速道路利用の大型車だけを対象にした東名高速豊田ICでの調査では警察官5人とパトカーが出動し、大型トラックなどを誘導した。税務課職員8人が2組にわかれ運転者に調査目的を説明、不正軽油追放のチラシを手渡し、計30台から採油した。高速道路走行車を対象にした調査は、同県では5年ぶり。

近畿では雨天で奈良が中止、和歌山でも途中で切り上げた地域もあったが、近畿全体では15ヵ所、314本を採油した。このうち大阪、兵庫、京都では調査場所を特定されないよう毎年変更するなど精度向上にも取り組んでいる。滋賀では環境関係部局も参加し、排気ガスの調査も行われた。

中国は岡山を除く4県6ヵ所で147本を採油。広島では県税職員17人、警察官22人が出動し、3ヵ所で実施。県内ナンバー車45本、県外ナンバー車8本の計53本を採取した。

四国4県では計10ヵ所で243本を採取。このうち香川では、多度津町さぬき浜街道沿いの1ヵ所で県税職員7人、警察官4人が出動し50本を採取した。

九州・沖縄では2日間に7県25ヵ所で466本を採油。このうち福岡は4ヵ所を予定していたが、雨天のため飯塚・直方地区を除く3ヵ所で実施。筑紫野市の筑紫野バイパスでは職員12人と警察官が大型トラックに停止を求め、協力を要請して燃料を採取、その場で簡易検査を行った。北九州市小倉南区の国道10号、飯塚市の国道201号と合わせて計50本を採取したが、異常燃料はなかった。

「灯油まつり」スタート

246事業所が参加 『満タン運動』もPR

新潟

【新潟】新潟石商（浜田忠博理事長）は21日から「灯油まつり2017」をスタートした。組合員246事業所が参加し、消費者に灯油が暖房用燃料として優れていることをアピール。また、還元の意味を込めて展開するキャンペーンでは、購入者に抽選で灯油暖房機器やQUOカードが当たる。さらに、現在展開中の『満タン&灯油プラス1缶運動』も併せてPRしていく。

7回目を迎えた灯油まつり。年を追うごとに組合員の支持が広がり、今年は246事業所が参加する。石油連盟、元売各社、暖房機器メーカーも協賛し、12月20日までの2ヵ月間、SSで灯油や石油機器を購入したユーザーに「A賞・石油ストーブと石油ファンヒーター各30人」、「B賞・QUOカード1千円600人」が抽選で当たる。

キャンペーンは灯油需要喚起とともに、暖房用燃料として災害に強く、経済性、燃料効率が優れていることを周知し、SSの商材として灯油の位置づけを向上させることが目的。併せて今回は満タン運動を消費者に広くアピールするため、同石商が作成した告知ポスター（写真）に「私たちは満タン&灯油プラス1缶運動を展開しています」と書き込んでいる。

キャンペーンを企画・立案した同石商広報委員会・広報分科会の山田隆一委員長は、「満タン運動と併せて新潟のやる気を見せていきたい。参加事業所が増えていることはありがたい」と多数の参加に謝意を表している。

〝チャリコン〟を総括

イベント開催時期分散も

神奈川

【横浜】神奈川石商広報委員会（木所章委員長）は18日に開いた会合で、先ごろ開催した第18回石油の日チャリティーコンサート『めざましクラシックス in ヨコハマ』の結果をまとめるとともに、石油の大切さや重要性を訴える対外広報活動の一環として実施している『石油の日街頭イベント』の来年度開催に向けた検討を開始した。

チャリティーコンサートには約1300人の来場者が訪れるなど盛況で幕を閉じ、今年も社会貢献活動の一環として寄付を続けることを決めた。また、チケットの一般販売の時期を早め、より多くの来場者を呼び込むため、スペシャルゲストの選定も早めに行うことを確認した。

また街頭イベントについては、秋に集中している組合イベントを分散化させる試みとして、4月に開催される地域イベントへの出展を検討していくこととした。

一方、11月6日に本厚木カンツリークラブで開催する『第14回元気を出せ神奈川SSゴルフ大会』には組合員・組合関係者ら31組119人がエントリー。うち26チーム96人が支部別対抗戦を繰り広げ、大会を盛り上げる。

木所委員長（写真）は、現在全国展開している『満タン&灯油プラス1缶運動』について、「災害に備え、我が社でもSSなどで満タンをお客様に呼びかけている。皆さんもぜひこの運動を盛り上げていただきたい」と呼びかけた。

コープさっぽろ

今冬灯油打ち出しは77円に

【札幌】コープさっぽろは灯油価格をきょう23日給油分から、全道一律でﾘｯﾄﾙ4円値上げする。改定後の定期配達価格は最安値の札幌で77円、最高値の稚内などで80円になる。

元売各社の灯油仕切価格は8月以降、10月第3週までの間に4円程度上昇しており、今回の値上げはこれに対応したものとみられる。きょうからの価格が事実上の今冬打ち出し価格になる。昨冬と比較すると15円高値でのスタートだ。

コストコ和泉店 119円で開所

大阪

【和泉＝大阪】コストコホールセールジャパンは20日、大阪府和泉市内の「和泉倉庫店」に関西初進出となるセルフSSをグランドオープンした。販売価格は19日のプレオープンとほぼ同じで、レギュラー119円、ハイオク130円、軽油93円、灯油のみ1円値下げし59円とした（写真）。

災害時対応へ実地訓練

自家発稼働し給油演習

岡山

ＳＳの営業を休止した中で実施された災害時対応実地訓練（岡山）

パトカーを専用レーンに誘導する女性スタッフ（函館）

【岡山】岡山石商（小出総太郎理事長）はこのほど岡山市内のSSで、円城寺昭SOMPOリスケアマネジメント上席コンサルタントを講師に招き災害時対応実地訓練を行った。

訓練中はSSの営業を休止し、震度6強の直下型地震が発生したという想定で、被害状況の把握・報告、店長による給油方針の指示を実演。その後、通常電源を落とし緊急用の自家発電機に切り替えて消防、警察の緊急車両への優先給油を実際に行った。

参加者からは「地震発生時の対応フローがあったため非常にわかりやすかった」、「非常用電源への切り替えが実践できたことが良かった」などの感想が聞かれたほか、「チェックリスト作成の必要性を感じた」、「SSに足りないツールを早急に備えたい」、「SSで普段から訓練を実施しスキルアップを図りたい」などと対応強化への意識が高まった。

函館はノンスペSSで

【函館】函館地方石協（渡邉宏海理事長）は16日、全石連主催の「災害時対応実地訓練」を函館市内の中核SSである前側石油豊川町SS（JXTG系）で実施した（3面に関連記事）。北海道内での同訓練は昨年11月の北見、今月5日の名寄に続き3回目。ノンスペースSSでの実施は道内では初めて。組合員、SSスタッフのほか函館市、消防、警察関係者を含め約25人が参加した。

SSは営業を休止して通常電源を切るなど、実際の災害時により近い状況を設定。訓練は震度6強の直下型地震が発生したとの想定で、まず営業再開を前提とした発生時の緊急措置として、SSの安全確保などの行動を3人のスタッフ役が演習。

続いて、緊急用発電機を始動し、SSの電源を実際に切り替えて計量機を作動させた。

この後、スタッフ役が緊急車両の市の広報車、パトカー、消防車を優先給油専用レーンに誘導し、給油と伝票記入を体験した。

研修旅行会に30人が参加

東京 港新宿渋谷地区

東京石商都心支部の港新宿渋谷地区（大家章嘉地区長）は17日、箱根湯本で恒例の研修旅行会および有志による親睦ゴルフ会を開催し、支部役員やSSマネージャーをはじめ、5月の3支部合併に伴い同時に発足した千代田中央地区の松本宏道地区長、文京豊島地区の木本雅之地区長、また第2方面協議会の大谷匡広会長・品川目黒支部長、高橋正光大田支部長、谷口寿亜東京都石油政治連盟会長ら総勢約30人が参集して交流を深めた。

あいさつで大家支部長（写真）は、「各SSの実力を発揮できる市場環境になってきた。商品をお金に換えてくれるお客様に、誠意をもって対応することが一層必要だ。我々は商品計画を作るが、お客様と接する〝人〟に対する計画をおろそかにしてきたのが人手不足の一因ではないか。このことを肝に銘じてSSを繁栄させてほしい」と呼びかけた。

オンライン動画コンテストへ協賛

出光

出光興産はこのほど、宣伝会議発行の広告クリエイティブの専門誌「ブレーン」が主催するオンライン動画コンテスト「Brain Online Video Award 2018」に協賛し、「人にエネルギーをあたえる」動画を募集すると発表した。

同コンテストは、映像制作業界の活性化と、次代を担う創作者の発掘と育成を目的に13年から開催されている。協賛企業各社から出される課題に対して、応募者が解決策となる動画を制作し、優秀作品が顕彰される。

世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

DATAコーナー

■石油先物市場・10/20

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／ＫＬ

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50ＫＬ）／中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20ＫＬ）

東京 16：30現在	前日比	限月	中京 16：30現在	前日比
（前日出来高1,293枚）		ガソリン	（前日出来高9枚）	
54,400	▲300	⑪限月	54,500	△300
54,160	▲410	⑫限月	54,500	0
53,630	▲350	①限月	52,300	0
53,330	▲280	②限月	51,500	0
53,450	▲300	③限月	53,500	0
54,120	▲330	④限月	53,070	0
（前日出来高647枚）		灯油	（前日出来高8枚）	
55,010	▲240	⑪限月	55,990	△490
54,890	▲200	⑫限月	55,200	▲100
54,920	▲330	①限月	55,100	▲200
54,600	▲250	②限月	54,800	0
53,910	▲310	③限月	52,500	0
53,150	▲370	④限月	53,330	0
（前日出来高-枚）		軽油		
50,000	0	⑪限月		
51,000	0	⑫限月		
51,000	0	①限月		
51,000	0	②限月		
51,000	0	③限月		
51,000	0	④限月		

原油指標

			前日比
国内指標	$／B	55.97	(▲0.33)
	￥／KL	40,049	(▲310)
WTI	$／B	51.29	(▲0.75)
	￥／KL	36,704	(▲609)

今週の指針

10月23日～29日　強運日＝23、25、28　吉方位＝西、南東

運命アドバイザー　北 秀一

1月生	運気落ち着かず苦労しよう。冷静な行動を心がけよ。愛情運弱い。
2月生	好不調の波あり見通し暗い。あせらず冷静に行動だ。金銭運弱い。
3月生	情勢に波があり落ち着かない。冷静な行動を心がけよ。愛情普通。
4月生	運気不安定で見通し暗い。落ち着いた行動心がけよ。金銭運弱い。
5月生	情勢落ち着かず苦労しよう。あせらず冷静に行動だ。愛情運普通。
6月生	運気安定してチャンスある。積極的に行動し結果吉。金運も強い。
7月生	情勢に波あり落ち着かない。軽率な行動は慎もう。愛情運も弱い。
8月生	運気に波があり苦労する。現状では軽率な行動禁物。金銭運弱い。
9月生	情勢落ち着かず不安定。落ち着いて冷静に行動だ。愛情運も弱い。
10月生	運気不安定で落ち着かぬ。冷静な行動を心がけよ。金銭運は弱い。
11月生	情勢まずまずも見通し暗い。軽率な行動は慎もう。愛情運も弱い。
12月生	運気安定してチャンスある。冷静な行動し結果吉。金銭運も有利。

月生早見表

1月生＝1月5日～2月3日まで
2月生＝2月4日～3月4日まで
3月生＝3月5日～4月4日まで
4月生＝4月5日～5月4日まで
5月生＝5月5日～6月4日まで
6月生＝6月5日～7月6日まで
7月生＝7月7日～8月6日まで
8月生＝8月7日～9月6日まで
9月生＝9月7日～10月7日まで
10月生＝10月8日～11月6日まで
11月生＝11月7日～12月6日まで
12月生＝12月7日～1月4日まで

感熱 ロール紙 キャンペーン期間中 11/30まで お買得価格!!

B型 国産品 ●印字保存性 7年 品コード:651 ~~¥114~~ ¥109 ★1箱100巻入 ★幅58mm ★長さ:62m
C型 国産品 ●印字保存性 7年 品コード:652 ~~¥96~~ おすすめ ¥86 ★1箱100巻入 ★幅58mm ★長さ:62m
A型 国産品 ●印字保存性 10年 品コード:650 ~~¥159~~ ¥154 ★1箱100巻入 ★幅58mm ★長さ:62m
I型 輸入品 ●印字保存性 7年 品コード:671 ~~¥82~~ ¥75 ★1箱80巻入 ★幅58mm ★長さ:63m
C型ミシン目入 国産品 ●印字保存性 7年 品コード:665 ~~¥102~~ ¥97 ★1箱100巻入 ★幅58mm ★長さ:62m
80mmタイプ 国産品 ●印字保存性 7年 品コード:663 ~~¥132~~ ¥127 ★50巻入×2箱 ★幅80mm ★長さ:62m
IW型 輸入品 ●印字保存性 7年 品コード:672 ~~¥110~~ ¥103 ★1箱60巻入 ★幅80mm ★長さ:63m

送料無料／掲載されていないロール紙は、本会又は石油組合までお問い合わせください。
10枚入 キャンペーン特価 液晶保護シート ¥6600 でご提供！
サンプルご希望の方や商品の詳細についてのお問い合わせは、最寄りの組合または全国石油業共済協同組合連合会へ 03-3593-5841

全石連の リサイクル トナーカートリッジ
キャンペーン中（11/30まで） 下記価格より ALL 200 円引き
送料無料・不要カートリッジ回収無料
業界最長クラスの18か月保証

canon
カートリッジ 303　印字枚数 2,000 枚 @1.90円　¥3,800
カートリッジ 303（大容量）　印字枚数 3,500 枚 @1.40円　¥4,900
カートリッジ 510Ⅱ　印字枚数 12,000 枚 @0.63円　¥7,600
カートリッジ 515Ⅱ　印字枚数 7,000 枚 @1.17円　¥8,200
カートリッジ 515Ⅱ（30%増量）　印字枚数 9,100 枚 @0.97円　¥8,800
カートリッジ 519Ⅱ　印字枚数 6,400 枚 @0.86円　¥5,500
カートリッジ 519Ⅱ（30%増量）　印字枚数 8,300 枚 @0.77円　¥6,400

RICOH
IPSiO SP3400H　印字枚数 5,000 枚 @1.08円　¥5,400
IPSiO SP6100H（30%増量）　印字枚数 19,500 枚 @0.40円　¥7,800
EPSON
LPA4ETC8　印字枚数 6,000 枚 @0.92円　¥5,500
OKI
TNR-M4A　印字枚数 2,500 枚 @1.52円　¥3,800
TNR-M4B　印字枚数 3,000 枚 @1.44円　¥4,300
canon
EP-32　印字枚数 5,000 枚 @0.98円　¥4,900

※価格はすべて税別
ご注文・お問合せは 最寄の石油組合または全石連共同事業グループ ☎03-3593-5841

北海道
北海道支局（札幌市豊平区豊平1条6-3-47 北海道石油会館）
011（822）8117

〝最後の砦〟の守り固めて

旭川皮切りに災害対応研修　函館は実地訓練も

北石連

北石連（伊藤豊会長）が開催する「災害時対応研修会」（全石連主催）が13日の旭川会場を皮切りにスタートした。16日の函館会場では午前に同研修会を行い、午後からは函館地方石協（渡邉宏海理事長）が同じく全石連主催の「災害時対応実地訓練」を函館市内の中核SSで実施した。

函館会場の災害時対応研修会には、函館地方石協（渡邉宏海理事長）組合員の中核SS、小口配送拠点、住民SSなどの経営者・スタッフら18人が参加。

SOMPOリスクケアマネジメントの古田隆上席コンサルタントが災害時におけるSSの貢献事例、南海トラフ地震など予想される大規模災害がもたらすSS業界への多大な影響などを解説した後、参加者を5グループに分けて災害時での店頭混乱回避シミュレーション（写真上）を行った。

同研修終了後には、会場を前側石油豊川町SSに移し、道内では初となるノンスペースSSでの災害時対応実地訓練を実施。函館市や消防、警察関係者も加わり、約25人が参加した。

渡邉理事長はあいさつで「エネルギー供給の最後の砦として、まさかの有事に備え、意識を高めてほしい」と参加者を激励。引き続き、ジャパンリスクソリューションの佐藤哲治主席コンサルタントが講師に就いて実地訓練を進行した。

同SSは営業を休止して通常電源を切るなど、実際の災害時により近い状況を設定。訓練は震度6強の直下型地震が発生したとの想定で進められた。まず、営業再開を前提とした発生時の緊急措置として、SSの安全確保などの行動を3人のスタッフ役が演習。続いて、緊急用発電機を始動し、SSの電源を実際にこれに切り替えて計量機を作動させた。この後、スタッフ役が市の広報車、パトカー、消防車を優先給油専用レーンに誘導し、給油と伝票記入を体験した（写真下）。

消費者セミナー　定員超の大盛況

石油連盟北海道石油SC

石油連盟北海道石油システムセンター（今井祐介所長）などが主催する消費者向けセミナー、「環境にもお財布にもエコな暮らし！」（全石連、北石連、札幌地方石協など後援）が先ごろ札幌で開催された。定員200人に対し、500人以上の参加申し込みが殺到。会場が拡張されるほどの賑わいぶりで、石油機器メーカー7社による環境配慮型省エネ石油機器の展示会も大盛況だった（写真）。

釧根石協　中標津町へ石油機器導入提案

釧根地方石協の豊田高明理事長は先ごろ、中標津町役場を訪れ、西村耀町長らに積雪寒冷地に適し災害に強い石油機器の導入と平時からの石油の使用を提案した。同石協からはこのほか、中標津支部の松村啓市支部長（中標津石油）と小野崎伸吾専務理事が訪問。また、石油連盟北海道石油システムセンターの今井祐介所長、越後屋隆マネージャーも同行した。

初めに豊田理事長が「災害対策としての石油機器の活用と平時からの利用をお願いしたい」とあいさつ（写真）。続いて今井所長と越後屋マネージャーが、持ち運びが簡単で備蓄もでき、パワーや経済面でも優れた石油を「災害時に最も適したエネルギー」とアピールし、避難場所などに適した石油機器・設備を具体的に提案した。

意見交換では、町は各避難所に中標津支部が寄贈したポータブルの遠赤外線石油ストーブ20台を配備し、ガソリン仕様の小型発電機も用意していることを説明。また、昨年新設した町営体育館には軽油仕様の非常用発電機を備えており、週に1回、自動での試運転をしていることも強調。これら非常用機器の燃料供給については「釧根石協の災害時協定があるので心強い」と西村町長は感謝した。

道内初の青年部誕生

25日に「青友会」が発足式

函館石協

函館地方石協（渡邉宏海理事長）は青年部会「青友会」の発足式を25日午後6時30分から、フォーポイントバイシェラトン函館で開催する。道内の地方石協で青年部会を設置するのは、函館が初めて。初代会長には本間和幸副理事長（平和石油社長・出光系）が就任することが内定している。

北見石協　網走でニュービジネス研修

北見地方石協（原谷真人理事長）は先ごろ、全石連主催の人材育成事業「ニュービジネス研修会」（写真）を網走で開催した。組合員企業の経営者、幹部ら16人が参加し、次世代SSとして生き残るための経営戦略を学んだ。

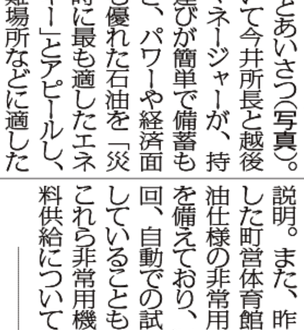
冒頭、新谷光一副理事長が「我々SS業者もいままでのビジネスモデルを見直す時期に来ている。世の中の変化をチャンスと捉え、新しい試みにも挑戦できるきっかけとなるよう学びたい」とあいさつ。第1部ではジェーシーレゾナンスの松永博司代表が「車の進化と今後のアフターカーマーケット～地殻変動時代を、いかに勝ち抜くか～」をテーマに、進化する自動車にどのように対応すべきかなど、生き残るための戦い方を伝授した。

第2部では、受講者によるワークショップを行い、「客が燃料以外でSSに求めているものはなにか」などの課題をグループ討議した。最後に各グループごとに討議結果を発表した。

九州各県理事長に聞く・特別編　鹿児島・笹田新理事長

自助努力結集し、相互信頼を創出

keyword　上　善　如　水



鹿児島石商・協は笹田隆司氏（岩崎産業副社長・JXTG系＝写真）を新しい理事長に選出した。5期10年に渡って石商・協理事長を務めた坪久田正明氏の後を受けての登板。元売とSS事業者との信頼関係の構築とともに組合員同士の相互信頼を重視する。笹田氏のインタビューはすでに全国版「新理事長に聞く」（7月19日掲載）で掲載しており、収録できなかった発言を一問一答で掲載する。（一部既報）

――抱負を。

石油を中心とした化石系燃料が今後も大切なエネルギーであることは、これからも変わらない。しかしながら、業界を取り巻く経営環境は激変しています。この様な時期であるからこそ組合員各位の自助努力を結集し、相互信頼を創出する議論と協調性のある活発な組織活動が求められていると思います。

――座右の銘は。

「上善如水」です。中国の道教の開祖と言われる老子の「道」を説いた言葉です。老子は「上善（最上の善）は水の如し。水はよく万物をいかして争わず。衆人のにくむ所におる。故に道にちかし」と言われたそうです。

姿容は柔軟であり、自身を低きに置くが、その意であり、時として立場のみで人と接してしまう自分への戒めとして使っています。

――自己紹介を。

奈良県出身。父親がゼネコンに勤めていた関係で、家族で国内中を転勤しました。大学在学中に出版社でアルバイトをしていたのですが、当時はバブルの真っ只中でアルバイト先の編集長に「これからは学歴偏重の時代から実力主義の時代へと変革していくよ」と、だまされて（笑）出版社に就職しました。

その後、上場企業に転職し、私自身も転勤族を16年間経験した後、ご縁をいただき現在の勤務先に18年前、落ち着きました。入社後は主として財務畑を歩み、長く財務部門を含んだ管理部門を中心とした部局を管掌していましたが、3年前より石油販売部門も管掌しております。

――趣味は。

健康の為に月に1、2回程度ゴルフ場やウォーキングに行っております。ゴルフが趣味と言いたいところですが、腕もスコアもついて行っておりません。

それと、私の趣味ではありませんが家内の趣味の神社、仏閣巡りに付き合わされています。ちなみに現在、家内が熱中しているのは「九州八十八ヶ所霊場巡り」で、若い時の家内に対する「つけ」をいま、思いっきり返済させられています。

昭和シェル石油九州支店　コンテストにSS精鋭参集

接客、安全技術競う

各地からSS精鋭が出場したコンテスト

全国大会に出場する上村さん（右）

昭和シェル石油九州支店「ドライブウェイコンテスト」が先ごろ、福岡市で開催され、九州サービスコンテスト・オイルマイスターコンテスト」が先ごろ、福岡市で開催され、九州各地のSSスタッフが出場した。

お客様目線に徹した接客レベルと安全点検技能の向上を目指し毎年実施している。フルサービスSSとセルフサービスSSとそれぞれ接客を実演。オイルマイスターではSOM（シェルオイルマイスター）とSCLA（シェルカーライフアドバイザー）の有資格者が腕を競った。最優秀賞の福博商事ウインズ安瀬SSの上村秀臣さんは九州支店代表として11月の全国選手権に出場する。また、イメージパーソナリティ賞にはイデックスリテール福岡・比恵の平井優衣さんが選ばれた。

その他の入賞者次の通り（敬称略）。

〈ドライブウェイ〉▽セルフ部門最優秀賞＝アイビー石油セルフステーション松橋北SS有島雅之▽優秀賞＝アイビー石油ハートアイランド大矢野SS成田敦志▽ライジングサン賞＝アイビー石油セルフ白藤SS松村知紘▽フル部門最優秀賞＝林兼石油あかしや通りSS杉本淳二▽優秀賞＝大分石油佐伯ながしまSS酒井竜也▽ライジングサン賞＝高島石油浜線SS山下巧

〈シェルオイルマイスター〉▽ライジングサン賞＝谷弥石油アイランド201SS田中一聡

最大では震度7、津波の到達時間は14～21分、場所によっては17㍍の巨大津波が襲来。地震・津波による死者は最大で3万5千人、負傷者は2万4千人に達する。

研修会では「被害の拡大を防ぐためにもSS施設を守り、供給力を確保することが求められている」と強調。グループに分かれて、災害時に給油客との間で起こる可能性がある様々なケースを想定して、トラブルを避けるための対応について意見交換し、講師のアドバイスを受けた。

太平洋に面した宮崎市で開催され、SS経営者、スタッフらが参加し、万一の災害に備える訓練をした。

沖縄　那覇、浦添両市と災害協定

満タン運動協力要請も

満タン運動のノボリを背に浦添市との災害時協定に調印した沖縄石商の濱元理事長（左から2人目）

沖縄石商（濱元清理事長）は先ごろ、那覇市（城間幹子市長）と浦添市（松本哲治市長）との間でそれぞれ、「災害時における支援協力協定」を締結したが、調印式には濱元理事長らが出席。満タン運動について「災害時の安心のために日ごろから満タンにし、寒冷期には灯油も備蓄しておくという運動を全国に先駆けて展開している」と説明した。さらに「一人ひとりの心がけで災害時にガソリンスタンドへの殺到、道路の渋滞を防ぐことができる。緊急自動車への給油をスムーズに行うことが被災者救助につながる」と訴えた。

両市でそれぞれ行われた調印式には濱元理事長が「車の進化と今後のアフターカーマーケット～地殻変動時代を、いかに勝ち抜くか～」をテーマに、進化する自動車にどのように対応すべきかなど、生き残るための戦い方を伝授した。

災害対応研修会　開き意見交換

宮崎

宮崎石商（植松孝一理事長）の災害時対応研修会が先ごろ宮崎市で開催され、SS経営者、スタッフらが参加し、万一の災害に備える訓練をした。

災害時の対応について意見交換するSSスタッフら

九州
九州支局（福岡市博多区上呉服町1-15 ふくおか石油会館5階）
092（282）0908

HITACHI
Inspire the Next

小さくなって、使いやすさアップ。

マルチフェイスLOW typeは、高さをおさえたコンパクト仕様。
低い背丈でも広い給油範囲を確保し※、
ノズルも取り回しやすくなりました。
さらに、コンパクトなLOW typeなら、開放感ある広々としたSSを演出。
多彩な機能に高い操作性をプラスした人にやさしい一台です。
※当社従来モデル（LOW type）より10％アップ

MULTIface
マルチフェイス

日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社　〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町８番地　パレール三井ビル
TEL. 050-3852-5623
http://www.hitachi-automotive-mm.com

BRIDGESTONE
あなたと、つぎの景色へ

冬こそ、性能で「ちゃんと買い」。

性能向上ポイント①　「アクティブ発泡ゴム2」で、氷上ブレーキ性能10％アップ。※1
性能向上ポイント②　新「非対称パタン」で、より止まる・曲がる。
性能向上ポイント③　さらに快適、さらに長持ち。

BLIZZAK
※1.「BLIZZAK VRX」との比較。※2. 詳しくは、カタログ・WEBをご参照ください。

2台に1台がブリザック※2
北海道/北東北主要5都市での装着率

株式会社ブリヂストン
[ブリヂストンお客様相談室] フリーダイヤル0120-39-2936　受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00　月に一度は、空気圧の点検を！
www.bridgestone.co.jp
Worldwide Tire Partner

トレンドファイル

国土交通省は先ごろ、内航海運の活性化に向けた新たな産業政策『内航未来創造プラン』を公表した。船舶・船員の高齢化、地球環境問題への対応など多くの課題に直面する中、安定的輸送の確保および生産性の向上を軸に位置づけ、①国土交通大臣登録船舶管理事業者（仮称）登録制度の創設②自動運航船など先進船舶の開発・普及」などの具体的施策、その実現に向けたスケジュールを明示するとともに、船舶用燃料油に含まれる硫黄分濃度規制への対応も盛り込まれた。

ZENSEKI

国交省 内航未来創造プランを策定

内航海運の活性化へ 「省エネ格付け」を導入

環境

内航海運は、2015年度実績で国内貨物輸送全体の44％（トンキロベース）・産業基礎物資輸送の約8割を担う一方、輸送量は89年度のピーク比で27％減少しているほか、約10年間で船齢14年以上の割合が15ポイント増の72％、50歳以上の船員割合が55％といずれも高齢化が進み、また事業者数は23％減の304者（オーナー34％減）、従事隻数16％減の5183隻（1隻あたり平均総トン数は25％増で大型化が進展）、船員数7％減の2万人など厳しい状況を抱える中、CO₂削減に向けた海運へのモーダルシフト促進が求められている。

うち石油製品に関しては、内航海運による輸送が88％を占めるとともに、輸送品目別シェアは23・4％で最も多いなど、特に船舶依存度が高いのが実情だ。

一方、輸送量は89年度のピーク比で27％減少しているほか、約10年間で船齢14年以上の割合が15ポイント増の72％、50歳以上の船員割合が55％といずれも高齢化が進み、また事業者数は23％減の304者（オーナー34％減）、従事隻数16％減の5183隻（1隻あたり平均総トン数は25％増で大型化が進展）、船員数7％減の2万人など厳しい状況を抱える中、CO₂削減に向けた海運へのモーダルシフト促進が求められている。

うち石油製品に関しては、内航海運による輸送が88％を占めるとともに、輸送品目別シェアは23・4％で最も多いなど、特に船舶依存度が高いのが実情だ。

一方、輸送量は89年度のピーク比で27％減少しているほか、約10年間で船齢14年以上の割合が15ポイント増の72％、50歳以上の船員割合が55％といずれも高齢化が進み、また事業者数は23％減の304者（オーナー34％減）、従事隻数16％減の5183隻（1隻あたり平均総トン数は25％増で大型化が進展）、船員数7％減の2万人など厳しい状況を抱える中、CO₂削減に向けた海運へのモーダルシフト促進が求められている。

うち石油製品に関しては、内航海運による輸送が88％を占めるとともに、輸送品目別シェアは23・4％で最も多いなど、特に船舶依存度が高いのが実情だ。

一方、輸送量は89年度のピーク比で27％減少しているほか、約10年間で船齢14年以上の割合が15ポイント増の72％、50歳以上の船員割合が55％といずれも高齢化が進み、また事業者数は23％減の304者（オーナー34％減）、従事隻数16％減の5183隻（1隻あたり平均総トン数は25％増で大型化が進展）、船員数7％減の2万人など厳しい状況を抱える中、CO₂削減に向けた海運へのモーダルシフト促進が求められている。

うち石油製品に関しては、内航海運による輸送が88％を占めると

こうした実情を踏まえた新たな政策プランでは、内航海運が目指すべき将来像を実現する具体的施策として、実質的な集約化・グループ化による効率化等に資する船舶管理会社の活用促進など、物流ネットワーク強化に取り組むため、一定水準の船舶管理サービスを提供する者に法的位置づけを与える①の運用を来年度から始める。

また、荷主と内航海運事業者の連携強化を図るため「安定・効率輸送協議会」（仮称）を設置し、好事例を表彰する制度として〝内航効率化大賞〟（仮称）を来年度から創設するとともに、「海運モーダルシフト推進協議会」（仮称）を今年度中に設置し、19年度以降にモーダルシフト船運航情報等一括検索システムの運用開始を目指す。

さらに、船舶の省エネ化を推進するため、内航船「省エネ格付け制度」を創設し、19年度から本格運用を開始するほか、②として自動運航船を25年度までに実用化する。

◇　◇

同省は7月7日から、内航船「省エネ格付け」制度の暫定運用を開始した。海運事業者からの任意の申請に基づき、同省海事局が1990～2010年の船舶と比較した省CO₂効果に応じて格付けを行うとともに、具体的事例を取りまとめて公表、省エネを促す。

また、9月末～10月半ばには内航船省エネ推進セミナーを全国5カ所で開き、格付け制度や省エネ〝船型〟開発の進捗状況を説明したほか、船内の居住環境改善と業務効率化・労働負担軽減につながる「労働環境改善船」（仮称）の普及促進を図るとした。

自動運転

「道の駅」で実証開始

20年までに社会実装目指す

国交省

道の駅にしかた近隣を走行したＤｅＮＡ小型バス「Robot Shuttle」

国土交通省はこのほど、栃木県栃木市の「道の駅にしかた」で自動運転サービスの実証実験を開始した。これは内閣府戦略イノベーション創造プログラムの一環であり、同省ではこの実験を皮切りに、全国計13カ所で今後実証を重ねていく予定だ。中山間地域での人流・物流を確保するため、道の駅などを拠点に自動運転サービスを路車連携で実験。2020年までに社会実装を目指す。

道の駅にしかたではＤｅＮＡの小型バスタイプをレベル4（専用空間）で走行させ、路面の障害物検知、乗降の運用方法、コスト、社会受容性、地域への効果などを今後検証していく。

カーライフ

日立AMSM

危機管理産業展に出展

自家給油所（ＳＭＡ－Ｑ）など展示

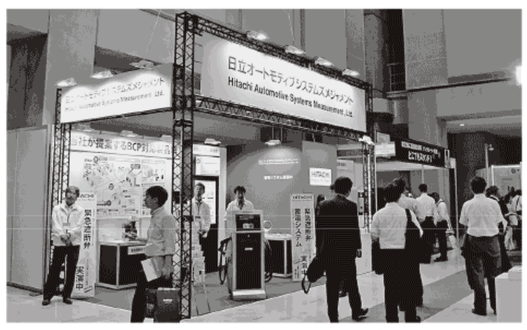
SS関連業界

日立オートモティブシステムズメジャメントは、このほど3日間にわたり、東京有明の東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展2017」に出展した。

同展示会は、「防災・減災」、「セキュリティ」、「事業リスク対策」を考える展示会で、同社は今回初めて出展した。

ブースでは「エネルギー環境と防災への対応」をテーマに、ＢＣＰ対策としてニーズが高まっている「自家給油所（ＳＭＡ－Ｑ）」および「燃料管理システム」をＰＲする展示を行った。

さらに「災害対応型緊急用計量機」に加えて、災害時でも水を確保する受水槽用「緊急遮断弁」や、停電時でもオフィスワークを可能とする、非常用電源としての「リチウムイオン蓄電システム」などの実機実演展示も行った。



「危機管理産業展2017」に出展した日立オートモティブシステムズメジャメントのブース

需給解説

販売

ガソリン 2カ月連続の前年減

過去10年で最低に落ち込む

9月ガソリン販売推計は前年比3・2％減の419万キロリットルとなり、2カ月連続で前年実績を下回ったと推計される。一方、9月のガソリン在庫は168・1万キロリットルで余剰が続いていると予測される（17年9月の販売量と月末在庫は本紙、17年度販売量は資源エネルギー庁推計）。

9月

エネ庁統計による8月内需は、前年比でガソリンが4％減の481万キロリットルとなり、再び前年実績を割った。中間3品は、灯油が0・7％減の47・5万キロリットルでいずれも前年実績を割れ、過去5年平均比は2631・3万キロリットルにとどまった。軽油は1・9％減の419万キロリットルで、2カ月連続の前年割れ、過去5年平均比は2631・3万キロリットルにとどまった。

一方、9月のガソリン内需推計は前年比3・2％減の419万キロリットルと、軽油も1・9％減の419万キロリットルで、2カ月連続の前年割れ、過去5年平均比は2631・3万キロリットルにとどまった。

一方、9月のガソリン内需推計は前年比3・2％減の419万キロリットルと、軽油も1・9％減の419万キロリットルで、2カ月連続の前年割れ、過去5年平均比は2631・3万キロリットルにとどまった。

一方、9月のガソリン内需推計は前年比3・2％減の419万キロリットルと、軽油も1・9％減の419万キロリットルで、2カ月連続の前年割れ、過去5年平均比は2631・3万キロリットルにとどまった見通し。資源エネルギー庁の17年度ガソリン需要見通しは前年比2・1％減のため、9月の減販を踏まえてもその想定値より内需減が進んでいないと試算される。ただ、8～9月の深刻な2カ月連続の減販でエネ庁見通しの2・1％減に徐々に迫っており、業界内でも危機感が高まっている。ガソリンのＳＳ店頭出荷について石油販売業者などにヒアリングしても9月は天候不順から「前年実績を下回っている」との回答がほとんど。石連週報の出荷量では、前年比で第1週＝6・6％増、2週＝9・9％減、3週＝6・4％減、4週＝2・4％増、5週＝13・9％減で、月間平均の計算値は6・2％減。

また、灯油は9・8％増の67万キロリットル、軽油は0・4％減の281・8万キロリットルでいずれも減販と推計。

在庫

灯油の低在庫続く

数量的には超低水準で推移

エネ庁統計の8月末在庫はガソリンが前月比1・5％増、前年比1・4％増の168・2万キロリットルで再び余剰になった。ただ、過去10年間でみると、在庫量は3番目の少なさだが、在庫日数は7番目の低さで必ずしも少ないとはいえない。軽油は4・6％増、在庫日数ともに4番目の少なさだった。灯油17・2％減の147・1万キロリットルで余剰が続いた。

元売再編で市場2・5円改善

4月の元売再編を受け、ガソリン小売市場に改善の兆しがある。4～9月の全国平均は前年比2・5円高の12・7円に改善した。

この粗利幅はエネ庁発表の小売市況調査と卸価格調査から試算した推計値のため、激戦地の実勢値などと比べ粗利幅が高めに出るのが特徴だが、前年比で改善傾向にあることは間違いない。ただ、地域別でみると、20道府県で改善したにとどまる。全国のベスト3位とワースト3位は別表の通り。これまで全国屈指の市況低迷が続いてきた秋田、茨城が改善傾向をみせたことは明るい兆し。

その一方で、徳島は改善幅はワースト2番で、さらにマージン幅でみると8・8円となり全国最低に沈む。元売再編の恩恵がない象徴的なエリアとなる。

エネ庁統計の8月末在庫はガソリンが前月比1・5％増、前年比1・4％増の168・2万キロリットルで再び余剰になった。ただ、過去10年間でみると、在庫量は3番目の少なさだが、在庫日数は7番目の低さで必ずしも少ないとはいえない。軽油は4・6％増、在庫日数ともに4番目の少なさだった。灯油17・2％減の147・1万キロリットルで余剰が続いた。

過去10年間でみると推計される。ただ、過去10年間でみると在庫量、在庫日数いずれも4番目の低水準に止まった見通し。灯油は準にとどまった見込2・5％増、12・9％減の239・6万キロリットルと推測。過去10年間で在庫量は最低水準だが、在庫日数でみると2番目の低水準とみられる。軽油は10・6％減、14・6％減の131・8万キロリットルと推測。

過去10年間でみると推計される。ただ、過去10年間でみると在庫量、在庫日数いずれも4番目の低水準に止まった見通し。灯油は準にとどまった見込2・5％増、12・9％減の239・6万キロリットルと推測。過去10年間で在庫量は最低水準だが、在庫日数でみると2番目の低水準とみられる。軽油は10・6％減、14・6％減の131・8万キロリットルと推測。

過去10年間でみると推計される。ただ、過去10年間でみると在庫量、在庫日数いずれも4番目の低水準に止まった見通し。灯油は準にとどまった見込2・5％増、12・9％減の239・6万キロリットルと推測。過去10年間で在庫量は最低水準だが、在庫日数でみると2番目の低水準とみられる。軽油は10・6％減、14・6％減の131・8万キロリットルと推測。

SS関連３油種の月次販売数量　（単位：千キロリットル）

	7月		8月		9月		10月	年度
	販売量	前年比	販売量	前年比	販売量	前年比	販売量	販売量
ガソリン								
2017年	4,687	0.1%	4,881	-4.0%	4,190	-3.2%	---	51,509
2016年	4,681	-1.8%	5,085	-0.1%	4,330	-0.8%	4,418	52,508
2015年	4,767	5.4%	5,088	2.1%	4,364	-1.0%	4,413	53,127
2014年	4,524	-9.6%	4,985	-6.3%	4,408	-2.6%	4,381	52,975
2013年	5,003	0.1%	5,318	-2.1%	4,525	-4.7%	4,510	55,477
2012年	4,997	-1.5%	5,434	-0.2%	4,750	0.6%	4,769	56,207
2011年	5,073	-4.3%	5,447	-2.1%	4,720	-5.3%	4,706	57,209
2010年	5,298	7.7%	5,562	1.7%	4,982	6.5%	4,774	58,159
2009年	4,921	1.2%	5,471	16.7%	4,680	-1.9%	4,863	57,464
2008年	4,864	-7.0%	4,689	-13.5%	4,770	-8.8%	4,683	57,497
灯　油								
2017年	444	1.5%	475	-0.7%	670	9.8%	---	15,574
2016年	438	-0.6%	479	1.6%	610	-7.9%	1,004	16,235
2015年	441	-3.3%	471	5.5%	662	-8.8%	1,016	15,946
2014年	456	-20.1%	446	-14.3%	726	9.6%	986	16,662
2013年	570	-13.6%	521	-27.3%	663	0.0%	1,034	17,911
2012年	659	7.9%	716	29.1%	662	-17.5%	1,062	18,884
2011年	611	-2.7%	555	-15.8%	803	-6.1%	1,187	19,623
2010年	628	11.8%	660	-5.5%	855	16.7%	1,131	20,349
2009年	562	-17.8%	698	70.7%	733	10.0%	1,347	20,066
2008年	684	-18.8%	409	-32.5%	666	-39.1%	972	20,249
軽　油								
2017年	2,929	4.5%	2,764	-1.9%	2,818	-0.4%	---	33,375
2016年	2,804	0.6%	2,818	0.8%	2,828	-0.3%	2,867	33,326
2015年	2,787	-1.2%	2,795	3.4%	2,838	1.0%	2,987	33,594
2014年	2,820	-5.1%	2,703	-4.5%	2,811	3.4%	2,905	33,583
2013年	2,972	4.0%	2,830	-1.5%	2,719	-0.4%	2,980	34,089
2012年	2,858	2.6%	2,874	5.4%	2,731	-0.4%	2,897	33,391
2011年	2,786	-2.2%	2,726	-0.8%	2,740	-5.5%	2,864	32,872
2010年	2,847	9.1%	2,747	0.4%	2,901	12.7%	2,700	32,891
2009年	2,610	-10.5%	2,737	12.1%	2,574	-11.5%	2,980	32,396
2008年	2,915	-2.0%	2,441	-14.2%	2,908	-5.1%	2,892	33,728
3油種合計								
2017年	8,061	1.7%	8,120	-3.1%	7,679	-1.2%	---	100,458
2016年	7,922	-0.9%	8,381	0.3%	7,769	-1.2%	8,288	102,070
2015年	7,995	2.5%	8,355	2.7%	7,864	-1.0%	8,416	102,667
2014年	7,800	-8.7%	8,134	-6.2%	7,944	0.5%	8,273	103,726
2013年	8,545	0.4%	8,669	-3.9%	7,907	-2.9%	8,524	106,779
2012年	8,514	0.5%	9,024	3.4%	8,143	-1.5%	8,729	107,963
2011年	8,470	-3.5%	8,729	-2.7%	8,263	-5.4%	8,757	109,723
2010年	8,773	8.4%	8,968	0.7%	8,738	9.4%	8,604	110,904
2009年	8,092	-4.4%	8,906	18.1%	7,987	-4.3%	9,190	111,258
2008年	8,463	-6.5%	7,539	-15.0%	8,345	-11.1%	8,547	113,332

SS関連３油種の月末在庫量　（単位：千キロリットル、日）

	7月		8月		9月		10月	年度
	在庫量	在庫日数	在庫量	在庫日数	在庫量	在庫日数	在庫量	販売量
ガソリン								
2017年	1,657	11.7	1,682	11.9	1,681	11.9	---	51,509
2016年	1,679	11.7	1,627	11.3	1,622	11.3	1,539	52,508
2015年	1,543	10.6	1,543	10.7	1,613	11.1	1,630	53,127
2014年	1,746	12.0	1,681	11.5	1,651	11.4	1,694	52,975
2013年	2,030	13.4	2,124	14.6	1,954	12.9	1,870	55,477
2012年	2,243	14.6	2,205	14.5	2,238	14.5	2,238	56,207
2011年	2,026	12.9	2,098	13.6	2,055	13.1	2,001	57,209
2010年	1,969	12.4	2,139	13.6	1,977	12.4	2,100	58,159
2009年	2,077	13.2	1,985	12.5	2,164	13.7	2,143	57,464
2008年	1,998	12.7	2,298	14.6	2,057	13.1	2,190	57,497
灯　油								
2017年	1,834	43.0	2,337	54.8	2,396	56.1	---	15,574
2016年	2,108	47.4	2,395	53.8	2,751	61.8	2,663	16,235
2015年	1,829	41.9	2,366	54.2	2,630	60.2	2,850	15,946
2014年	1,606	35.2	2,226	48.8	2,776	60.8	3,073	16,662
2013年	2,292	46.7	2,857	58.2	3,079	62.8	3,163	17,911
2012年	2,309	44.6	2,741	53.0	3,195	61.8	3,357	18,884
2011年	2,588	48.1	3,014	56.1	3,356	62.4	3,368	19,623
2010年	1,974	35.4	2,303	41.3	2,736	49.1	2,920	20,349
2009年	2,600	47.3	2,960	53.8	3,130	56.9	3,091	20,066
2008年	2,325	41.9	3,363	60.6	3,841	69.2	4,054	20,249
軽　油								
2017年	1,409	15.4	1,473	16.1	1,318	14.4	---	33,375
2016年	1,518	16.6	1,780	19.5	1,544	16.9	1,477	33,326
2015年	1,711	18.6	1,748	19.0	1,745	19.0	1,476	33,594
2014年	1,606	17.5	1,921	20.9	1,743	18.9	1,523	33,583
2013年	1,664	17.8	1,955	20.9	1,659	17.8	1,404	34,089
2012年	1,825	20.0	1,854	20.3	1,726	18.9	1,804	33,391
2011年	1,847	20.5	2,073	23.0	1,901	21.1	1,759	32,872
2010年	1,786	19.8	2,013	22.3	1,682	18.7	1,834	32,891
2009年	1,938	21.8	2,080	23.4	2,023	22.8	1,856	32,396
2008年	2,000	21.6	2,403	26.0	2,146	23.2	2,019	33,728

全国ガソリン粗利改善幅

高知	6.6
茨城	4.5
秋田	4.4
徳島	0.5
熊本	0.5
福岡	0.2
全国	2.5

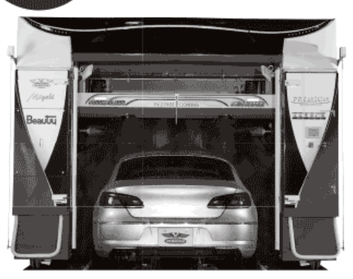
（単位：円、キロリットル）

最新 New Model Carwash MIYABI ドライブスルー洗車機 雅（みやび）

洗浄力UP! ランクUP!!

最新コーティングの仕上がりに満足し、
洗車ポイントカードでリピートを促す。
目指したのは洗車による生涯顧客の創造です。

洗浄力UP 汚れに強くボディに優しい洗浄



洗浄動作を刷新!
ブラシに最適な制御で
洗浄力がさらに向上!!

ブラシの優しさが確認されました
「サイフレックスブラシⅡ」は第三者公的機関にて洗浄試験を行い、その優しさが確認されました。

ランクUP バディカードシステム搭載! 業界初

洗車でポイントが貯まる!
新洗車会員システム!!

ゴールド会員価格
規定のポイントが貯まるとゴールド会員にランクアップ
シルバー会員価格
規定のポイントが貯まるとシルバー会員にランクアップ
ブロンズ会員価格

洗車生涯顧客を創造する新会員システム!!

※バディカードシステムはオプションです。

Beauty ビユーテー株式会社
機械遺産認定の信頼と洗車機累計販売台数世界NO.1の実績
SINCE 1965
本社 名古屋市港区木場町2番地 TEL 052-692-2101（大代表）
ビユーテー 検索 http://www.beauty.gr.jp

ISO14001
ビユーテー本社事業所は環境管理に関する国際標準規格ISO14001の認証を取得しています。

■Network of the Beauty
北海道支店　仙台支店　上信越支店　埼玉支店　東京支店　千葉支店
東海支店　北陸支店　大阪支店　広島支店　福岡支店　南九州支店